

●征くシリーズ●取材・執筆・写真／本誌編集部

コッツウォルズのヴェニス ボートン・オン・ザ・ ウォーターを征く

■英国でも屈指の人気を誇るカン
トリーサイド、コッツウォルズ
(Cotswolds)。羊小屋を意味する「cot」
と、なだらかな起伏の原野を意味する
「wold」を語源とする同地方は、中世
時代に羊毛取引で栄え、今なお昔なが
らの穏やかな景観が広がっている。夏
の大特集として今週から3回にわたり、
コッツウォルズの魅力あふれる村々を
紹介。初回は、常に多くの観光客で賑
わう水辺の村、ボートン・オン・ザ・
ウォーターを征く。

コッツウォルズ中部から、やや北寄
りに位置するボートン・オン・ザ・
ウォーター(Bourton-on-the-Water)は、
澄んだ小川と石橋、水面を覗き込むよ
うにしな垂れる木々、そして同地方特
有の淡いはちみつ色の石灰石「ライム
ストーン」で造られた家並みの調和が
美しい村だ。村名の「Bourton」は古
語の「Burgh(要塞)」「Ton(村)」に由
来し、サクソン人の要塞のそばにあっ
た水辺の村が起源となっている。

村の風景を特徴づけるウインドラッ
シュ川は、子どもでも安全に遊べるほ
ど緩やかで浅い小川だが、かつては今
よりも広くて深く、さらに村のより南
方を流れていた。現在の姿になったの
は17世紀初頭で、村にあった水車小屋
の生産性をあげるため、水路が村の中
心を通るように改修工事を行ったから
である。これに合わせて、17世紀半ば
から20世紀にかけて5つの石橋がかけ
られ、「コッツウォルズのヴェニス」と
謳われる美しい光景が生まれた。

中心部は、1時間もあれば十分にま
われるほどコンパクト。ハイストリー
トに立ち並ぶ雑貨店やアンティーク
ショップを見てもわるのもいいが、や
はり川のほとりをのんびり散歩するの
がおすすぬ。多くの観光客や地元
の人々が川沿いで犬の散歩をしたり、川
辺やベンチに座って話に興じたり、ア
イスクリームを食べ歩いたり、思い
思いの時間を過ごしている。川の水に
触れてみると、強い日差しとは対比的
にひんやりとして気持ちがいい。大人
も土手に腰を下ろして靴を脱ぎ、素足



家々や石橋はコッツウォルズを象徴するライムストーンで建てられており、淡いはちみつ色を帯びた景観が可愛い。



クリームティー（スコーンと紅茶のセット）などで、小腹を満たすのもよさそう。



川沿いにはホテルやレストラン、カフェが並ぶ。テラス席で、夏の日差しを浴びながらビールやワイン、食事を楽しみたい。



村にあるアトラクションのひとつ「Cotswold Motoring Museum」の入り口にある車型の生垣が、観光客の目を引いていた。

水をにつけてパシヤパシヤと水遊びを楽しむんでいる。
また、この村には観光客向けのアトラクションが徒歩圏内にあることも魅力のひとつ。先述した旧水車小屋は「Motoring Museum（自動車博物館）」（12頁参照）となっているほか、村全体を9分の1サイズに縮尺して再現した「The Model Village（モデル・ヴィレッジ）」（12頁参照）、フラミンゴやペリカンなど500種類以上の鳥が集まった「Birdland（バードランド）」がある。散策だけでは物足りない…という人の欲求も満たしてくれるはずだ。
さらに時間のある人は、村から北へ歩いて30分ほどの場所にある村「ロウアー・スロウター（Lower Slaughter）」のマナーハウスまで足を伸ばしてみるのもいいだろう。同ホテルでは、ラウンジやガーデンで伝統的なアフタヌーンティーを堪能することができる（45ポンド／要予約）。

Travel Information

2023年8月15日現在

Bourton-on-the-Water

ボートン・オン・ザ・ウォーター

ロンドンから車

M40でオックスフォード方面へ向かい、ジャンクション8でA40の出口を出る。Burfordへと続くA361で曲がらずにそのままA40を進み、A429で右折。そこから5マイルほど北上。ロンドンから所要約2時間。

ロンドンから公共交通機関

London Paddington 駅から電車に乗り、Moreton-in-Marsh 駅で下車（所要約1時間半）、バス801（Cheltenham 行き）に乗り換える。およそ30分で Bourton-on-the-Water に到着。



編集部制作の動画はこちら ▶





大人の腰の高さ、ものによっては膝の高さにも及ばないような小さな家々が立ち並び、村の様子がそのまま再現されている。ドールズハウスが好きな英国人ならではの精巧さに驚愕。入場チケットを提示すれば、隣接するパブの食事が10%オフに。

ミニチュア・サイズの村

The Model Village

ポートン・オン・ザ・ウォーターの村を9分の1サイズで再現したモデル・ヴィレッジ。隣接するパブ「The Old New Inn」の元オーナーの発案で、地元職人らによって5年かけて制作された。完成は1937年。村を流れる川や石橋、住居、教会、ショップなど驚くほど忠実に再現されており、教会からは音楽さえ聞こえてくる。建物内の家具にまで気を配って作られたものもあり、作り手たちの村に対する愛を感じずにはられない。

10:00～17:45 / 入場料: £4.50
<http://themodelvillage.com>



ハイストリートを南東に進み、しばらく歩くと見えてくるこの看板が目印。

収集家の熱意に脱帽!

Cotswold Motoring Museum

自動車の歴史を紹介する博物館。創業は1978年で、車好きの英国人収集家マイク・キャバナー氏が水車小屋として使われていた建物を改装した。

キャバナー氏は英自動車メーカー「ライレー社」のスポーツカー「Brooklands」(1929年製)を30ポンドで購入して以来、すっかりクラシック・カーにハマって次々と買い集めた。当時南アフリカに住んでいた彼が英国に戻った際、この元水車小屋が売りに出されていることを知り、これも即購入。収集品をすべて輸送し、博物館としてオープンさせた。



エンジンオイルの臭いが漂う空間に、クラシック・カーのほか、レトロなバイクや自転車、交通標識、おもちゃ等が所狭しと並ぶ。時代によって変化するデザインの変遷は、乗り物ファンでなくとも楽しめる。

10:00～18:00 / 入場料: £7.50
www.cotswoldmotoringmuseum.co.uk



村を流れるウィンドラッシュ川にかかる5つの石橋のうち、西端にある橋の横に建つ博物館。ディスプレイされているクラシック・カーは、丁寧に手入れされていてピカピカ!